

共同研究会大塚班
運動としての大衆文化
第一回共同研究会

研究代表者 大塚 英志

日時:2017年7月8日(土) 13:00 受付 13:30 開始
会場:国際日本文化研究センター 第1共同研究室

プログラム

13:30→4:30 室井康成(柳田國男研究会)「大衆運動としての柳田民俗学」

14:30→5:00 コメント 杉本仁(柳田國男研究会)

15:00→5:10 休憩

15:10→6:10 川口創(弁護士)「運動は可能なのか～実践と検証」

16:10→6:30 大塚英志「私たちが書く憲法前文 公民の民俗学の実践として」

16:30→7:30 質疑・討論

17:30→9:30 懇親会(会場未定)

大塚班共同研究会第一回は今の時代には唾棄や嘲笑の対象とされかねない「運動」という問題を正面から考え直します。その出発点として柳田國男の民俗学を「運動」として整理し直すという、かつての柳田論で自明であった視点を室井康成氏に概観して頂きます。その上で、教育運動としての柳田民俗学を教育の現場から追求してこられた杉本仁氏にコメントをいただきます。

更に、「イラク自衛隊派兵違憲訴訟」や国民法制懇といった運動の実質的なオルガナイザーである川口創氏にその自らの実践を検証していただきます。時間があれば大塚がかつて行なった「憲法前文を書く」という主権者教育について少しはなします。それらを通して「運動」というオールドスクールな視点を研究に導入する糸口と使用と思います。

参考図書(可能であれば討論の参照にご一読ください)

杉本仁『柳田国男と学校教育 教科書をめぐる諸問題』(2011年、梟社)

室井康成『柳田国男の民俗学構想』(2010年、森話社)

川口創・大塚英志『今、改めて「自衛隊のイラク派兵差止訴訟」判決文を読む』(2015年、星海社)

大塚英志『殺生と戦争の民俗学－柳田国男と千葉徳爾』(2017年 KADOKAWA)